

2021年12月24日

各 位

会社名 UTグループ株式会社
代表者 代表取締役社長 兼 CEO 若山 陽一
(コード：2146 東証第一部)
問合せ先 上席執行役員 経営基盤部門長 山田 隆仁
電話番号 03(5447)1710

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要に関するお知らせ

当社は、東京証券取引所の定める「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能向上を図ることを目的として、当社取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 分析・評価の方法

- (1) 実施時期： 2021年9月～10月
- (2) 回答対象者： 全ての取締役及び監査役 計11名
- (3) 実施方法： WEBアンケートによる自己評価、外部機関による評価結果の集計・分析
- (4) 評価項目： 大項目5部構成（全25問）
取締役会の運営と構成、経営戦略と事業戦略、企業倫理とリスク管理、
業績モニタリングと経営陣の評価・報酬、株主等との対話
- (5) 回答方式： 5段階評価と大項目毎にフリーコメント・要望の記載

2. 分析・評価結果の概要

上記アンケートでは、各評価項目において、5段階のうち「5：適切である」または「4：概ね適切である」との回答が多くを占めていること、また以下の理由を踏まえ、当社取締役会は適切に機能しており、取締役会の実効性は概ね確保されていることを確認いたしました。

(1) 取締役会の運営と構成

取締役会における独立性、ジェンダー及び経験・専門性の観点で、女性社外取締役の選任によって、さらに多様性が確保され、取締役会の構成が適正であるとの評価がなされました。また、取締役会における議題の選定、決議事項と業務執行側に委任すべき事項の振り分けが適切であることも評価がなされたポイントであります。

(2) 経営戦略と事業戦略

技術職社員に対するスキルアップ及びキャリアアップを軸に事業が展開され、その戦略が有効に機能することで持続的な成長を遂げているとの評価がなされました。また、サステナビリティに係る社会的要請の高まり等の外部環境の変化に対応し、機動的に取り組みを進めている

ことも評価がなされました。一方で、現中期経営計画で重要戦略としているM&A等の推進に係る投資実行後のPMIや、DX推進による業務プロセス改革等については、その進捗状況の共有及びモニタリング機能をより強化していくべきであるとの意見が挙がりました。

(3) 企業倫理とリスク管理

企業倫理に関する外部要請への対応やリスクアセスメント実施状況の共有等が適切であり、内部監査が有効に機能しているとの評価がなされました。一方で、組織変更やオペレーション変更に伴うリスク管理状況のモニタリングについて、さらに取締役会で議論を深めていく必要があるとの意見が挙がりました。

(4) 業績モニタリングと経営陣の評価・報酬

指名委員会（2021年8月30日より、新たに「指名・報酬委員会」を設置）において、各取締役及び各執行役員の業績評価が的確に行われているとの評価がなされました。役員の報酬等の決定及び決定プロセスについては、指名・報酬委員会から取締役会への答申のあり方を定めたいうえ、より明確に公表されることに期待するとの意見が挙がりました。

(5) 株主等との対話

適時適切に株主等との対話があり、その内容が取締役に適切に報告がなされているとの評価がありました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一定の対話の制限は発生したものの情報開示の面では充実しており、今後は特にサステナビリティの観点で非財務情報の開示が進むことで、より一層の企業価値向上に向かっていくことが期待されるとの意見が挙がりました。

3. 分析・評価結果を踏まえた今後の対応について

本結果を踏まえ、当社取締役会は、中長期経営計画、リスクマネジメント及びサステナビリティ等に関する議論を深化させるとともに、中長期経営計画進捗やM&A等の投資実行後のレビュー等、監督機能強化に向けた取り組みを継続的に進めてまいります。今後、コーポレートガバナンスのさらなる強化、そして持続的な企業価値向上に努めてまいります。

以上